のとちょう議会だより

発行：能登町議会　発行日：平成２７年２月１日　編集：能登町議会広報編集特別委員会

波並地区左義長

第３９号の内容

●１２月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・・・・Ｐ２－３
●議員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
●議会組織と議会からのお知らせ・・・・・・・・・・Ｐ５
●１２月定例会議の議案質疑と討論・・・・・・・・・Ｐ６
●常任委員会レポート・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
●議会活動と編集後記・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

第39号

いっぱん質問

１２月定例会議の一般質問

田端雄市　議員

問 町長の町政に取組む姿勢と熱意を問う

町政トップとして町民をリードする姿勢と熱意を問う。

答 町民の声を聞くことを根本に取組む

町長　町政運営を行うにあたり、町民の意見を聞くことの重要性を認識している。私は協働のまちづくりを提唱してきた。住民・各種団体などと供にまちづくりを行うということであり、そのために各種団体や各地域の集まりにも参加し、また、出前講座などで意見等も伺っている。

町民の皆様の意見・要望を町政運営に生かしたいと考えている。

問 町政においての法令遵守の認識を問う

町政の中で町長の法令遵守に対する認識を問う。また、具体的にどのように実践しているのか問う。

答 法律等を遵守し透明性・公正性を確保する

町長　近年においては、法令遵守にとどまらず、モラル遵守にまで認識されている。

町政運営については、地方自治法が基本の法律であるが自分自身はもとより職員に対しても指導徹底を図っている。また、町民に町の情報公開を理解してもらえるように条例等を整備し、透明性・公正性の確保に努めている。

また、開かれた町政運営を行うにあたり、重要案件の決断には、諮問委員会等を発足するなど、町にとってよりよき決断ができるよう心掛けていく。

問 国が決めた地方創生について町の取組み

まち・ひと・しごと創生法が成立したが、それに対して町はどのように取組むのか。

答 第２次総合計画の策定作業と合わせて取組む

町長　国や県の総合戦略の策定を受け、町として整合性の取れたものを策定したい。

具体的には、平成28年度から町は10年間の第２次総合計画を策定する。その際には、各業界から伺った意見や一月、二月に行う町民との懇談会等の中でいただく声をその計画に反映しながら、町の実情に応じた施策や目標を定めたい。

河田信彰　議員

問 行政庁舎の今後の方針

合併後10年が経過しようとしている。庁舎問題について、町長の現段階での見解を問う。

答 平成27年度予算に新庁舎建設に係る基本策定業務を計上

町長　平成27年度当初予算に新庁舎建設に係る基本構想策定業務を計上する。町では行政改革大綱実施計画により組織等の見直しを逐次協議している。今後、現庁舎の現状や問題点の点検、建物の改修や維持管理のほか耐震調査結果も踏まえて、基本構想策定業務を実施していきたい。

問 こども医療費助成制度の拡大

子どもの医療費について子育て世代の経済的負担軽減のため、現行の制度を見直し18歳まで対象を拡大できないか。

答 平成27年度中に18歳まで拡大したい

町長　現行制度の子ども医療給付事業の対象は中学校卒業年度までとなっている。県内では11の市町において対象年齢が18歳までとなっている。

町では県内情勢や子育てを支援する施策の一環として、平成27年度中には子ども医療給付の対象年齢を18歳までに拡大したいと考えている。

椿原安弘　議員

問 人口減少問題対策を問う

日本創成会議の人口減少問題検討分科会が発表した当町の将来推計人口が、２０４０年に20歳から39歳までの女性がマイナス約81％と発表している。この対策について総合的に対処するため、町内において対策室等を設けて進めてはどうか。

答 人口減少対策を専門とする室の設置を考えたい

町長　新年度から当町の人口問題への対応策を見出すため、人口減少対策を専門とする室の設置を考えている。現在各課が実施している施策に加え、新たな事業展開も含め総合的に取組みたい。

問 新年度予算編成と主要事業

新年度予算編成に当り、各課長に対し編成方針をどのように示したか。また、主要事業をどのように考えるか。

答 消防本部庁舎の整備や生活基盤整備を行う

町長　平成27年度以降の交付税緩和措置の終期が始まるのを見据えて、健全で持続可能な財政運営が出来るよう編成方針を伝えた。主要事業は、ハード面では消防本部庁舎の整備、水道事業の老朽管更新事業や簡易水道再編事業、農業基盤整備で五十里地区や黒川地区のほ場整備、道路整備で引き続き生活基盤の道路網整備、都市計画で駅山手線街路整備や小木都市計画の再整備の着工、ソフト面では新町合併10周年を記念して広く町民から企画提案を募り記念事業を行いたい。

問 イノシシ被害対策を問う

現在の当町でのイノシシの被害金額や被害面積、捕獲頭数と被害防止対策を問う。また、新年度においての被害防止対策を問う。

答 捕獲用檻の増設や電気柵の設置を考えたい

町長　現在のところ被害面積が9㌶、被害額は８４０万円。昨年は約2㌶と２０４万円だったので昨年と比較しても被害面積、被害額とも4倍である。また、捕獲頭数は22頭である。新年度も農作物の被害防止を図るため、被害集落の点検を積極的に行い、捕獲用檻を20基程度増やし、電気柵を距離にして約30キロ程度、国庫補助を要望している。さらに、狩猟免許取得費用の助成、イノシシ捕獲報奨金制度を引き続き実施して、農業者の支援に努めていきたい。

市濱等　議員

問 明るく元気な能登町を作るには

賞罰をはっきりさせることが町を明るく元気にする第一歩ではないか。

一年の納めの時期に功績のあった方々を一年に一度必ず表彰すればどうか。

答 功績のあった方々に表彰を行なっている

町長　条例等に基づき表彰を行なっている。今後も表彰を続けていく。

各方面に功績のある方々がいれば推薦して欲しい。

問 宇出津病院の災害拠点病院化について

住民の安心安全、緊急事態に対しての対応は。隣の市の病院体制と格段の違いがある。災害拠点病院化を目指すべきと思うが。

答 災害拠点病院化には様々の要件がある

病院事務局長　多くの要件がある。災害派遣チームを保有し地域の医療機関への派遣体制が必要だ。施設設備面では入院施設は通常の2倍、外来では5倍程度のスペースが必要だ。通常の6倍の緊急用の発電機、3日間の燃料の備蓄等まだまだ多くの要件を満たさなくてはならない。現在は救急告示病院として県の指定を受けている。

町長　不足の部分も有るが、地域医療、救急患者受入れ病院として、災害医療マニュアルも整備した。消防などと連携して救急医療に対応する。

問 海岸保全について

新保、白丸、宮崎海岸護岸工事は施工以来約50年が経過して、老朽化が進んでいる。何度も言い続けているが、なかなか進捗しない。消波工事、津波災害対策を早急に。

答 各方面に働きかけている

町長　各方面に働きかけている。状況が分る写真等が必要だ。監視カメラ設置等対策も考える。

その他質問者
金七祐太郎　議員

町民の皆さまの代表が決まり、１４名の新体制でスタートしています

議席番号　５番

しょうじまさとし
氏名　小路　政敏
住所　越坂

議席番号　４番

いちはまひとし
氏名　市濱　等
住所　新保

議席番号　３番

くにもりたかあき
氏名　國盛　孝昭
住所　柳田

議席番号　２番

きんしちゆうたろう
氏名　金七祐太郎
住所　松波

議席番号　１番

たばたゆういち
氏名　田端　雄市
住所　真脇

議席番号　１０番

むかいとうげたかと
氏名　向峠　茂人
住所　当目

議席番号　９番

みなみまさはる
氏名　南　正晴
住所　鈴ヶ嶺

議席番号　８番

かわだのぶあき
氏名　河田　信彰
住所　藤波

議席番号　７番

つばきはらやすひろ
氏名　椿原　安弘
住所　時長

議席番号　６番

さけもとのりこ
氏名　酒元　法子
住所　宮地

議席番号　１４番

ひさだりょうへい
氏名　久田　良平
住所　宇出津山分

議席番号　１３番

かじやしんいち
氏名　鍛治谷眞一
住所　宇出津

議席番号　１２番

みやたかつぞう
氏名　宮田　勝三
住所　藤ノ瀬

議席番号　１１番

おくなりそうざぶろう
氏名　奥成壮三郎
住所　小木

議会組織

議　長　鍛治谷眞一
副議長　河田信彰

総務産業建設常任委員会
委員長　國盛孝昭
副委員長　椿原安弘
委　員　田端雄市
市濱等
酒元法子
河田信彰
宮田勝三

教育民生常任委員会
委員長　金七祐太郎
副委員長　小路政敏
委　員　南正晴
向峠茂人
奥成壮三郎
鍛治谷眞一
久田良平

議会運営委員会
委員長　宮田勝三
副委員長　市濱等
委　員　小路政敏
酒元法子
向峠茂人
久田良平

広報編集特別委員会
委員長　田端雄市
副委員長　金七祐太郎
委　員　小路政敏
酒元法子
椿原安弘
南正晴

奥能登広域圏事務組合議会議員
向峠茂人
久田良平

奥能登クリーン組合議会議員
市濱等
小路政敏
椿原安弘
河田信彰
南正晴
奥成壮三郎

のと鉄道運営助成基金事務組合議会議員
酒元法子

監査委員　宮田勝三

※平成27年2月1日現在

議会からのお知らせ

【　お　知　ら　せ　】

平成２７年２月６日から**能登町議会の議事堂は能都庁舎へ移転**となります。
議会の傍聴や請願・陳情等の際は能都庁舎へお越しください。

■新しい連絡先■

□住所　石川県鳳珠郡能登町字宇出津新１字１９７番地１
□電話　０７６８－６２－８５４０　FAX　０７６８－６２－８５４１

※議事堂とは、本会議場、委員会室、議員控室、議長副議長室、議会事務局の事務室などが含まれ、議会活動のために必要な場所的設備を総称して議事堂といいます。

議案をチェック

12月定例会議の議案質疑

平成26年12月定例会議の議案質疑は6名の議員が議案について質した。主な質疑内容は次のとおり。

問 宮田勝三 議員
指定管理者である能登町ふれあい公社の管理運営について、現在は町長が社長となっているが社長を意欲ある人を求めるために公募したらどうか。

答 町長
適切な人がいれば社長職を受けていただきたいと考えている。今後の課題として役員会で諮っていきたい。

問 向峠茂人 議員
水産業振興費の事業内容と予算措置について問う。

答 農林水産課長
施設内容について、急速冷凍庫、冷凍庫、冷蔵庫の三種類の機種を備えるものを建設するための設計費である。予算については町単独の予算で対応する。

問 市濱等 議員
議員報酬の議案がなぜ、今この時点で出されたのか。早目に提案できなかったのか。

答 総務課長
報酬引上げの要件となった定数削減と通年議会の導入が年度途中であったため、当初予算の方が良いと判断し改正案を提案した。

答 町長
物事を早めに対処することも大事だが、しっかりと見極めたうえでの対応を選択した。

問 椿原安弘 議員
臨時福祉給付金925万円の補正について説明せよ。

答 健康福祉課長
当初の見込み人数の中で、加算対象者を500人と見込んでいたが、障がい者基礎年金や遺族年金受給者に加え、町ではその情報が分らない加算対象となる各種年金受給者が304人と大幅に多かったことがその内容である。

問 田端雄市 議員
議員報酬の引上げ金額について説明せよ。

答 総務課長
定数4名減の経費の半額相当分を引上げ金額とした。また、県内他町の平均を目安とした。

問 酒元法子 議員
消防庁舎の予定地として、上町地区になった経緯を説明せよ。

答 町長
検討委員会で候補地を選定してもらった。上町地区は町の中央部にあたり、どこへ行くにも均等な距離であること。また、まとまった町有地があることなどが理由であった。

答 総務課長
宇出津町野線、珠洲道路の沿線に近い幹線道路という理由が選定の一番の理由として上町地区となった。また、今後指令センターができ、2市2町奥能登広域圏内を視野にいれての対応を考え、消防車・救急車が出やすい位置として決定した。

討論

議案第93号『議会議員等の報酬期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例』を否決

議案第93号について討論が行なわれ、採決では賛成少数にて否決された。討論の要旨は次のとおり。

【賛成討論】
10番 向峠茂人議員
町長が議案を提出した理由を推し量ると、第1に議員定数が減となったこと、第2に通年の会期制が導入されたこと、第3に昨年制定された議会基本条例第19条に特別職報酬等審議会の意見を尊重すると規定されていることに基づいてであると考える。
更には当町の議員報酬は県内19市町中、最も低額であり、人口が当町より少なくても大幅に高額な市もある現状である。
以上を踏まえ賛成の討論とする。

向峠議員

【反対討論】
12番 宮田勝三議員
特別職報酬等審議会の意見を尊重すべき立場だが、平成7年から約20年間据え置かれており、改正には慎重を期すべきと思う。
大半の地方議会の議員構成は必ずしも住民の縮図とは言えず、幅広い層の住民の立候補や議員活動環境の整備にはより高額とすべきでないか、また町の基幹産業の現状等を踏まえれば現行の額は高すぎるのではないか。
こうした検討を行う十分な時間を持つために反対の討論とする。

宮田議員

総務産業建設委員会

國盛孝昭（委員長）
椿原安弘（副委員長）
田端雄市・市濱等
酒元法子・河田信彰
宮田勝三

12月9日に委員会を開催し議案14件を審議。議案第93号「議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」は賛成少数で否決とし、他の13件は全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●一般会計補正予算

問 消防庁舎建設検討委員会に審議を依頼した理由は。

答 理由は①現在の消防署は津波想定の区域内であること②能登消防署・柳田分署は耐震基準をクリアしていないため、建て替えあるいは移設が必要であること③平成28年度からのデジタル化による指令体制が変わることが理由である。

問 消防庁舎建設予算を執行・実施する場合は当委員会に事前に具体的な説明をしたうえで実施して欲しい。また、関係する地元住民に説明をし理解を得られるよう努められたい。

答 今後事業を進めていくうえで、連絡調整をとりながら行なっていきたい。

●議員報酬額の改正

問 議員報酬の決定の際、なぜ県内の中間を選んだのか。

答 議員報酬は現在、県内の町で当町は最下位となっている。議員定数削減や通年議会となったことを踏まえて、事務局案のとおり県内町の中間の額として審議会に諮り答申を受けたものである。特別職については、現状維持という案が妥当であるとなった。

●鮭尾地区飲雑用水施設

問 鮭尾地区の飲雑用水施設の事業費はどの程度か。また、この施設を利用して宮地地区まで管路延長はできないか。

答 鮭尾地区整備にかかる費用は2億9000万円。農林補助事業で、計画上、鮭尾地区に特定した事業であることから管路延長は出来ない。

●土木費の地元負担金

問 土木費の河川費における補正予算で財源の地元負担について、県単事業における地元負担率はどの程度か。

答 県単事業は事業費の3％である。

教育民生委員会

金七祐太郎（委員長）
小路政敏（副委員長）
南　正晴・向峠茂人
奥成壮三郎・鍛治谷眞一
久田良平

12月9日に委員会を開催し付託された議案11件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●一般会計補正予算

問 安全生活創造推進事業は新規事業か。買い物難民の救済措置としての事業であり、エリア設定など偏らないようにして欲しい。

答 町としては新規事業で事業費は車両購入費及び改造費で200万円である。今回はモデル的なもので、地域のお楽しみ会やサロン活動など人が集まるところに出向き、事業をPRしていくのも良いと考えており、高齢者等の生活支援を広めていくという方針で進めたい。

問 要援護者等支援事業の配食サービスは何食分か。

答 当初は2万1千食を見込んでいたが、4千食を追加し2万5千食を見込んでいる。

●病院事業会計補正予算

問 病院事業会計で薬品費の補正があがっているが、新薬の使用や医療材料の面でも、慎重かつ無駄のないよう努めて欲しい。

答 新薬については薬事委員会で審議おり、材料のコストの削減などにより合理化を図っていきたい。

●出産一時金の改正

問 改正の具体的な内容を説明せよ。

答 出産の保険として今までは3万円の上限があったが、1万6000円に減額されたことに伴い、総額を変えないという意味で一時金を39万円から40万4000円に変更する。

●指定管理

問 指定管理について営利団体については3年、管理団体については5年となっているが、「なごみ」は営利施設ではなく管理施設か。

答 売上げをみる一面もあるが、健康増進施設ということで管理施設となる。

●AED購入費

AEDに関して、何度も講習を開かないといざというときに対応が出来ない。活用できるよう準備をお願いしたい。

10月から12月の主な議会活動

10月1日　町戦没者追悼式
10月6日　のと鉄道運営助成基金事務組合議会定例会
10月9日　県町村議会議長会臨時総会
10月15日　町社会福祉大会
10月16日　広報編集特別委員会
10月23日　能登牧場開所式
10月29日　久田船長碑前祭
各地区敬老会
11月10日　町議会11月会議
11月12日　町村議会議長全国大会
11月13日　能登地区町議会連絡会視察研修
11月17日　奥能登クリーン組合議会全員協議会・定例会
11月26日　町議会全員協議会・町議会11月第2回会議
能登北部RDF広域処理組合議会全員協議会・定例会
12月2日　県町村議会議長会協議会
12月4日　町議会全員協議会
12月8日　町議会12月定例会議（開議）広報編集特別委員会
12月9日　各常任委員会
12月13日　三波分団消防ポンプ自動車入魂式
12月15日　町議会12月定例会議（一般質問）
12月16日　町議会12月定例会議（閉議・散会）

次の定例会議は３月です

議会は３月の定例会議より能都庁舎４階にて開かれます。
議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、
ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

十二月定例会議より、議員十四名体制で会議が行われました。常任委員会も二つとなってスタートです。何事も新しいスタートは試行錯誤が前提です。先人の智慧を生かしながら、さらに新しいものを造りあげて行く姿勢が肝要と考えます。
議員、議会がしっかり役割を果たすべく、研鑽を重ねたい。

委員長　田端　雄市

広報編集特別委員会
委員長　田端　雄市
副委員長　金七祐太郎
委員　小路　政敏
酒元　法子
椿原　安弘
南　正晴

発行：能登町議会　編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒928-0312　石川県鳳珠郡能登町字上町８字485番地
ＴＥＬ（0768)76-8310　ＦＡＸ（0768）76-2151